



RISSHO UNIVERSITY | NEWS

October, 2022 Vol.154



Topics

- 2 立正ランドデザイン発表
- 5 これまでの150周年記念事業紹介
- 8 輝く人 3年生のJリーガー誕生
- 9 大学院あれこれ
- 10 地域連携活動の紹介
- 16 3年ぶりに両キャンパスで学園祭開催

Location

品川キャンパス
〒141-8602 東京都品川区大崎 4-2-16 / Tel.03-3492-5250
熊谷キャンパス
〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉 1700 / Tel.048-536-6010

Website

学園新聞
Web版は
こちらから



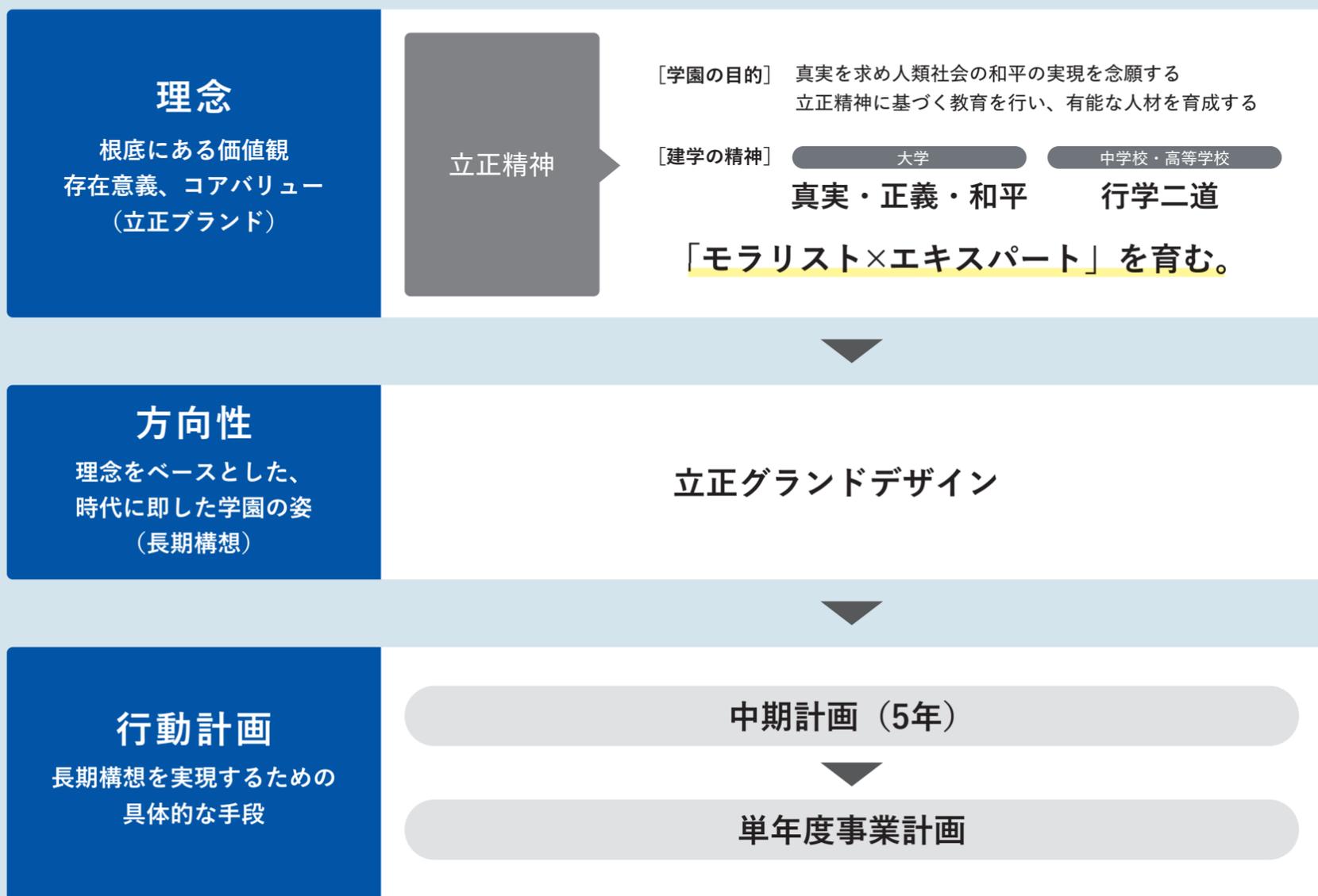


立正大学学園 開校150周年

長期構想「立正グランドデザイン」発表

本学園は2022年に開校150周年を迎えました。この150周年を一つの節目と捉え、これからも永続的に学園を発展させていくための指針として、10年後のある立正グランドデザインの基本コンセプトは、「多様性を尊重し、伝統と新たな知を融合することで社会に革新をもたらすことのできる人材が集う学園」です。このコンセプトには、これからの社会をよりよいものにしていくために革新を起こし続けようという学園の強い意思を込めています。立正グランドデザインの実現に向けて、教育、研究、社会貢献・連携、学園経営・運営、校友連携の5つを大きな柱として、今後の具体的な行動計画に落とし込みます。

全体像イメージ



デザインによせて
立正グランド



望月 兼雄
学校法人立正大学学園
理事長

立正大学学園は開校から150年間にわたり、立正精神を理念として教育・研究活動を続けてまいりました。これからも未来に向けて、これまで培ってきた歴史や伝統を守りつつ、現代社会の多様な価値観を受け入れ、歴史や伝統と革新とを融合し、人類社会に貢献する人材育成と、それに伴う教育環境の充実に尽力してまいります。

学生と教職員が想いを一つにして、「立正グランドデザイン」のもと、総合大学として学部や研究科間の連携を強化し、さらなる研究成果を発信し続けてまいります。全てのステークホルダーの皆さまには立正大学学園のこれからの取り組みに、ご支援・ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。



寺尾 英智
立正大学 学長

50周年!

150周年記念事業募金のお願い

本学園では記念すべき年を祝すとともに伝統を継承し、校友会会員はじめ広くステークホルダーの皆様のご期待に応えるため、開校150周年記念事業を実施しております。昨今の厳しい経済情勢が続いておりますが、皆さまには「学校法人立正大学学園開校150周年記念事業」の趣旨をご理解いただき、本学園学生・生徒に更なる学びの場を提供する取り組みに対して、今後とも一層のご理解あるご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

募集期間

2018年1月～2023年10月末日

募金要項や
手続き方法
はこちら



べき姿を立正グランドデザインとしてまとめました。

立正グランドデザイン

多様性を尊重し、
伝統と新たな知を融合することで
社会に革新をもたらすことのできる
人材が集う学園

教育

成長のための基礎力と個性を磨く専門性の育成

生涯にわたって成長するための基礎学力を確実にし、専門知識・技能を身につける教育の場を提供するとともに、社会課題解決のためにデータを活用できる人材、および国際的に活躍できる人材を育成する。

研究

国際社会に貢献する研究の蓄積と発信

学部間の連携強化を通じ、SDGsをはじめとする国際社会における目標達成のための研究を蓄積し、その成果を発信していく。

社会貢献・連携

地域の活動を通して国際社会を考える

10年後の地域活動の活性化のためのプログラム開発、コンテンツの提供、地域創生のための自治体との協働を行っていく。

学園経営・運営

健全な経営を目指し、財政基盤とガバナンスを強化する

財務体質の健全化を目指し、業務効率化に努めながら、学園の独自色を打ち出し、ブランドを確立するために研究・教育に関わるソフト面に重きを置いて効果的な投資を行っていく。引き続き法人全体のガバナンスを強化し、組織体制・意思決定プロセスの明確化を図る。

校友連携

生涯にわたる校友との連携体制の構築

組織の連携・拡充を推進するために、校友に対して学園の諸活動に関する情報提供を行い、学園と校友との相互支援・協力体制を推進するためのサービス提供に努める。

立正大学が教育・研究機関として果たしてきた役割は、長い歳月を積み重ねて伝統となりました。さらに次世代へと繋いでいくために、“新たな学びの環境”を構築し、追求し続けます。現代のように変化の激しい時代には、多様な視点で物事をとらえ、考えることのできる人を育てていくことが、これまで以上に重要になります。その背景にあるのは「多様性」と「融合」です。学問と学問、人と人、さまざまな異なる結びつきが、問題解決の糸口となり、革新を生み出していくと信じています。私たち立正大学は、立正精神を理念とする建学の精神のもと、「立正グランドデザイン」の実現を力強く推進してまいります。



大場 一人
立正大学付属
立正中学校・高等学校 校長

立正中学・高等学校は開校以来、建学の精神である「行学二道」に基づき、人間力を高め、社会に貢献できる人材の育成に取り組んでまいりました。とりわけ、グローバル時代のリーダー像を見据えた教育に注力し、すべての場を教育の機会ととらえ、生徒一人ひとりがそれぞれの資質と可能性を最大限伸ばせるような指導体制を整えております。「立正グランドデザイン」に加えて、今年度中には新たにスクールミッション、スクールポリシーも策定の予定です。立正中学・高等学校ならではの学びと人づくりの特徴をより際立たせ、今後とも学園、大学との連携を深め、付属校としての強みを存分に生かしてまいります。

立正大学学園 開校150周年記念式典



菅野日彰祝下により執り行われた慶讃法要

6月15日、品川キャンパスの石橋湛山記念講堂にて、150周年を記念した慶讃法要と式典を実施しました。慶讃法要は立正大学学園総裁の菅野日彰祝下により執り行われ、式典では、望月兼雄理事長、寺尾英智学長、立正大学付属中学校・高等学校の大場一人校長が挨拶を行い、高額寄付者の表彰や、学園歌斉唱、立正グランドデザインの発表などを行いました。

オープニングセレモニーと学園歌斉唱では大学の吹奏楽部とグリークラブ、附属中高の吹奏楽部と合唱同好会が合同で演奏を行いました。学園の行事で大学と附属中高の団体が合同で演奏を行う事は、近年では初の試みとなります。限られた調整期間で迎えた式典当日、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、石橋湛山記念講堂ではなく、ロータスホールから中継を繋いでの演奏披露となりましたが、中継であることを感じさせない迫力と、一体感のある演奏で式典に花を添えました。



高額寄付者への表彰



附属中高と大学の合同で行われた演奏の様子



挨拶を行う望月兼雄理事長

Pick up!

これまでの150周年 記念事業紹介

開校150周年に伴い

これまで様々な事業を行ってきました。
その一部をご紹介します。

2019年11月

立正大学学園開校150周年プロジェクト発足イベント実施

プロジェクトの概要およびプロジェクトへの意気込みをお話するとともに、プロジェクトにおける民間企業・団体7社の参画についても発表。当日は作家である高橋源一郎氏、芸人・絵本作家として活躍される西野亮廣氏を招き、大学や学生に関するテーマを中心に講演が行われました。



2021年2月

品川キャンパス 150周年記念館竣工

品川キャンパスに建設された150周年記念館には、地域に開かれた情報拠点となる「地域連携エリア」、教室やプレゼンテーションスペースからなる「スタディエリア」、学際的な研究活動の場となる「先端研究エリア」の3つのエリアから構成されています。ここは、街とキャンパスをつなぐゲートウェイであると同時に、大学の教育や研究など様々なアクティビティを活性化し発信する場となっています。



2020年4月

陸上競技部 駅伝部門 始動

陸上競技部に駅伝部門を創設し、全国レベルの駅伝大会への挑戦をスタートさせました。駅伝の本選出場に向け、日々練習に励んでいます。



2021年4月

熊谷キャンパス データサイエンス学部開設

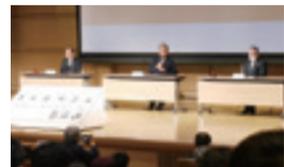
熊谷キャンパスに開設されたデータサイエンス学部は、データサイエンスの様々な分野での実績を持つ教授陣による講義と、実際にデータを用いてビジネス・モデルを展開している企業や組織との連携によるインターンシップやフィールドワークといった実践的な学びによる「文理融合型」のカリキュラムで、データサイエンスを広く実社会に応用し、ビジネスをはじめとした社会のあらゆる現場で新たな価値を生み出す即戦力となるデータサイエンティストを育成します。



2021年10月

隈研吾基調講演 150周年記念フォーラム「1人より3人」

本学と隈研吾建築都市設計事務所、及び北海道東川町と、三者包括連携協定を締結し、協定調印式や、地方創生フォーラム「1人より3人」を開催しました。



2022年6月

立正大学オリジナル日本酒「立咲」 150周年記念セット発売

立正大学の学生が熊谷市唯一の酒造メーカー権田酒造株式会社と連携して作成した、オリジナル日本酒『立咲-RISSHO-』の開校150周年記念セットを販売。購入は権田酒造株式会社販売HPよりご注文ください。



購入はこちらから ▼



2022年5月

バスツアー企画「バスで巡る日蓮聖人・ 石橋湛山の起源」実施

山梨平和ミュージアムに併設されている石橋湛山記念館の見学と、宗祖日蓮聖人棲神の霊地である総本山、身延山久遠寺の参拝を中心としたバスツアーを実施しました。



2022年 8月

開業150周年記念ツアー 「つなぐ、すすむ、知のレガシー（遺産）」実施

開業150周年を迎える鉄道各社とのコラボレーションで学生・生徒や企業・地域とをつなぐ鉄道ツアー「つなぐ、すすむ、知のレガシー（遺産）」を8月27日に実施しました。





先生に聞OSHiete!

そうま わたる
相馬 亘 先生

データサイエンス学部
データサイエンス学科

『量子コンピュータ』を用いた解析に挑戦中!

初心者でもRPG感覚で学べるプログラミングスキル



Q 相馬先生はどんな研究をしているの？

私が京都大学でポストドクターをしていた2000年頃、指導教官がふとしたきっかけで、高額所得個人データCD-ROMを見つけてきて解析し、とても綺麗な分布に従っている図を見せてくれました。私はその図を見て、所得分布全体の様子はどうなっているかという興味を持ち、高所得層と中低所得層ともに、綺麗な関数系で説明できることを発見しました。日本の所得分布データを可能な限り集めて、個人所得分布にはある種の普遍性があることを発見しました。これが、私とデータサイエンスとの出会いです。

その後、研究グループのメンバーと、興味を持った様々なテーマを多元に研究しています。最近では、多様なデータを解析する新しい数学の研究、スーパーコンピュータ「富岳」や量子コンピュータを用いた解析にも挑戦中です。

Q データや情報を集めるコツはある？

いつでも自分のセンサーを敏感にしておくことです。国内外のテレビ、新聞、SNSなどで目や耳にしたことを、それって本当？データで裏付けられているの？科学的なの？どうやって検証すれば良いの？などと考えを巡らし、疑問に思えばすぐに調べることだと思います。

ただし、インターネット検索やSNSはユーザーの好みに合うように最適化されていますから、自分と同質な偏った情報だけに触れることになります。そのため、自分の考えのみが正義だと錯覚する可能性があることには、十分に注意する必要があります。

Q プログラミングスキルは身につく？

昔と違って現在では、多くのユーザーは、白紙の状態から自分でアルゴリズムを考えながらコードを書くことはほとんどありません。例えるならば、ブロックで遊んでいる感覚です。

初めは、程々の物を作れる基本ブロックで遊んでいます。そのうち、他の色のブロックが必要とか、特殊な機能を備えたブロックが必要になって、それを使ってブロックを作るといった感じです。

また、ロールプレイングゲームに例える人もいます。レベルが上がるに従って様々なアイテムや能力を手に入れて、戦闘力、防御力、魔法を高めていく感じです。勉強と思わないで、遊びながら鍛えるという感覚を持つことが大事です。

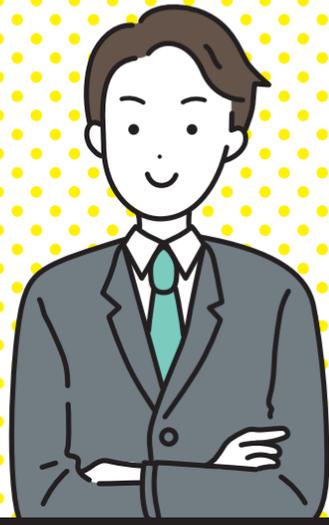


相馬 亘 教授

所属：データサイエンス学部
データサイエンス学科

研究分野：データサイエンス、理論物理学

〔略歴〕1996年に金沢大学大学院の自然科学研究科博士課程を修了。その後、京都大学や独立行政法人情報通信研究機構などでの研究員を経て、2009年より日本大学工学部の准教授に就任。およそ20年前、『データサイエンス』という分野が目される以前から様々なデータを集めて解析し、数値シミュレーションによって未来を予測する研究を行っていた。現在は、データごとに行っている個別の研究を統合し、人類や地球の未来をリアルタイムで予測する研究へと発展させている。



本土で唯一の琉球文学を専門にしている専任教員 「日本復帰」前の現地を知る教授が語る沖縄の魅力

しまむら こういち
島村 幸一先生
文学部 文学科

Q 島村先生はどんな研究をしているの？

前近代の沖縄・琉球文学が私の専門分野です。今年度は「琉球の旅歌（航海儀礼歌）の基礎的研究」というテーマで、科学研究費助成事業に採択されました。「旅歌（航海儀礼歌）」というのは、航海の安全を願う歌です。琉球・沖縄の物や人の移動は船が中心です。それで、航海の前に盛んに旅歌を謡います。もうひとつ、科学研究費助成事業の研究成果公開促進費（学術図書）にも採択され、来年2月に『おもろさうし選詳解』という本を出す予定です。『おもろさうし』は、明治時代の初めまで沖縄にあった琉球国の儀式で謡われた歌謡集です。また、琉球王府が編纂した史書や地誌、旧記に記された物語、伝承も研究しています。

Q 「日本復帰」前の沖縄はどのような場所だったの？

今年は、沖縄が日本に「復帰」してちょうど、50年目の年ですね。私は「復帰」の1年前の1971年に、沖縄に行きました。当時、沖縄は「外国」でした。パスポートが必要でした。通貨はドル。当時、東京の晴海埠頭から沖縄へは船で48時間。台風に遭い63時間もかかりました。船酔いでへとへとになって那覇港に着くと、防疫検査がありやっとの思いで上陸しました。

沖縄を廻ると、沖縄の人達に「日本復帰」を望んでいない人達がいることが分かりました。「復帰」をしても米軍基地はほとんどなくなるという失望。「復帰」をすると、圧倒的な力で本土資本が入ってきて、沖縄の企業が打撃を受けるのではないかという不安。本土の情報、文化が、すごい勢いで流入してきて沖縄の文化が失われてしまうのではないかという恐れなどが聞かれました。沖縄戦の時に日本兵による住民殺害の話をした時は、強いショックを受けました。旅行中にはなにも分からない高校生に優しくしてくれる人がいる一方で、私達に警戒する人もいて、複雑な経験をしました。

Q 沖縄・琉球の文化や文学に興味がある人が、 沖縄に行った時、どこを見ればいい？

まずは、やはり「ひめゆり平和祈念資料館」を見て欲しい。私の先生の一人は、ひめゆり部隊を引率した仲宗根政善先生（『ひめゆりの塔をめぐる人々の手記』角川文庫の編者）です。私は仲宗根先生（琉球大学名誉教授）に直接習った最後の学年です。それと、世界文化遺産になっているグスク（城）巡りを勧めます。首里グスク、浦添グスク、中城グスク、勝連グスク、今帰仁グスク。沖縄のグスクは、城塞であるとともに祭祀の場です。首里グスクは、半分以上は祭場です。その祭祀を司るのは、ノロといわれる女性神役です。ヲナリ神信仰というものが、沖縄・琉球文化の特徴です。ヲナリ神信仰は女兄弟は生まれながらにして、男兄弟を靈的に守る力があるというものです。御嶽（ウタキ）という聖域が、グスクには多くあります。沖縄県立博物館・美術館も充実しています。お勧めです。



島村 幸一 教授

所属：文学部 文学科
研究分野：琉球文学

【略歴】1971年、高校2年生の時にいった沖縄旅行をきっかけに、沖縄の民俗学に興味を持ち、沖縄のユースホステルに泊まり込みで浪人生活を行う。その後、琉球大学、法政大学大学院に進学し、卒業後は高校教師を勤め、本学文学部に着任。2016年から2021年まで本学文学部の学部長を務める。現在、本土で沖縄琉球文学を専門とする唯一の専任教員である。沖縄琉球文学を専門とする教員がいることが、文学部文学科日本語日本文学専攻コースのカリキュラムの特色のひとつになっている。



小林 幹 ゼミ
(経済学部経済学科 准教授)

みんなのゼミ自慢



授業の風景。ホワイトボードとパソコンを用いて、演習形式でプログラミングを学ぶ。



恒例のBBQ。コロナ禍のため最近が開催されていないことが残念。

「一生懸命を楽しく」がモットーの小林幹ゼミ 基礎からプログラミングを学び、 研究や就活へ生かす

小林幹ゼミは、プログラミングの基礎を学べる経済学部唯一のゼミです。

最近ではAIが様々な分野で活躍し、私たちの社会においてなくてはならない存在ですが、そのAIを動かしているのはプログラミングです。2020年度から小学校の授業でプログラミングが必修化されたことからプログラミングの重要性が増していることが分かります。

2年ゼミでは、プログラミングの基礎学習を座学で勉強しつつ、簡単なゲームをプログラミングしたり、経済学に関する問題をプログラミングしたりと、演習形式でプログラミングを学んでいます。初めは私たち文系の学生にはプログラミングは難しいのではと思っていましたが、基礎を学びみんなで一緒に考え教えあうことで、やれば誰でもある程度は習得できるということが分かりました。

3年ゼミでは研究紹介の場であるゼミ大会に向けていくつかのグループに分かれ共同で研究活動を行います。研究活動では、私たち学生が興味のある問題を取り上げ、その解決にプログラミングを使用しています。例えば、東京都の電車路線の重要度を測る指標を考え、それをプログラミングで実際に計算させその指標の妥当性を検証するという研究などを行っています。ゼミの先輩たちの就職先などを見てもIT系が多いことも特徴の一つです。

また、小林幹ゼミの学生はイベントも多く、先生も積極的にイベントに参加され、学生間はもちろん先生との距離が近いことも魅力の一つです。過去には合宿、懇親会、BBQなどが行われていましたが、最近ではコロナ禍のためほとんどイベントが行われなくなりとても残念です。それでもオンライン飲み会やオンラインゲーム大会を開いたり、「一生懸命を楽しく」をモットーに様々な工夫をしながらゼミ活動を行っています。



記事: 薄葉 嘉斗
(経済学部経済学科 金融コース4年、帝京安積高等学校出身)

在学中にプロ内定を決めた期待の星 パス・ドリブルともに違いを生み出すファンタジスタ

地球環境科学部地理学科3年
東海学園高等学校出身

さきばら きょうた
榊原 杏太さん

輝く人

キラリ モラリスト × エキスパート

本学サッカー部に所属している地球環境科学部3年生の榊原さん。在学中でありながら名古屋グランパスに内定している新星です。

「物心がついた時からサッカーをしていました。サッカー漬けの日々で楽しいです」と、笑顔でサッカーへの愛を語ってくれました。小学校では地元のサッカー少年団に入団し、中学校では清水エスパルスジュニアユース、高校では1人親元を離れ名古屋グランパスユースに入団。その後立正大学に入学してからも1年の頃からメンバーに登録され試合に出場するなど、輝かしい才能を発揮し、順風満帆で活躍してきたように見える彼にも挫折の経験もありました。

出られないことを指導者のせいにしていた中学生時代 自主練習が自分と向き合ういい機会に

中学時代に所属していた清水エスパルスジュニアユースは、「最強世代」とも呼ばれ史上2チーム目となるジュニアユース3冠を達成していました。しかし、レギュラーを掴めていなかった榊原さんは出場することができませんでした。「試合に出場することができず苦しかったです。試合に出場できないことを、自分の実力を認めてくれない指導者のせいにしていました」と、当時を振り返っています。「周りと同じ練習をやっても試合には出れない。誰よりも練習するしかない」と、榊原さんは同級生より1時間半早くグラウンドへ行き、練習時間を増やしました。練習時間を増やすことでもう一度自分を見つめ直し、自分の武器であるパスやドリブルを極めたり、稀に数合わせで先に練習しているユース(※高校生)に混ぜてもらったことと言い、「小さな努力の積み重ねが今の自信のあるプレーに繋がっています」と榊原さんは話します。

最後に「名古屋グランパスは前線の選手層が厚いですが、中でも監督に求められることをこなして自分の強みを出しつつ、試合に絡んで活躍できる選手になりたいです。まずは、立正大学サッカー部を1部へ昇格できるように頑張りますので応援よろしくお願いします」と今後の抱負とメッセージを話してくれました。榊原選手のプロキャリアは始まったばかり。榊原選手の今後の活躍から目が離せません。



プレー中の榊原選手

大学院あれこれ

2022

立正大学大学院各研究科から届いたレポートです！

文学研究科

2021年度「文学研究科学術交流会」が開催されました！テーマは「健康」



2021年度「学術交流会」の登壇者たち

6専攻から構成される文学研究科では、学問の多様性という特徴を活かし、2018年度から「学術交流会」を開催しています。参加者は大学院・学部・学科・専攻の枠を超え、共通テーマに沿って発表し、議論を交わします。2020度は感染症拡大防止のため中止となりましたが、昨年度はハイブリッド形式で開催され、多くの学生や教職員が集いました。登壇者は多彩なアプローチから「健康」というテーマをめぐって発表し、まさに人文知の醍醐味といえる活発な議論が行われました。それは同時に、コロナ時代を生き抜かなければならぬわたしたちが、真摯に向かい合うべき問題を提起するものとなりました。

6専攻から構成される文学研究科では、学問の多様性という特徴を活かし、2018年度から「学術交流会」を開催しています。参加者は大学院・学部・学科・専攻の枠を超え、共通テーマに沿って発表し、議論を交わします。2020度は感染症拡大防止のため中止となりましたが、昨年度はハイブリッド形式で開催され、多くの学生や教職員が集いました。登壇者は多彩なアプローチから「健康」というテーマをめぐって発表し、まさに人文知の醍醐味といえる活発な議論が行われました。それは同時に、コロナ時代を生き抜かなければならぬわたしたちが、真摯に向かい合うべき問題を提起するものとなりました。

経済学研究科

3年ぶりに課外勉強会が再開



中国をはじめアジア地域からの留学生が数多く在籍する経済学研究科では、毎年課外勉強会を実施しています。課外勉強会では、修士と博士後期

両課程の大学院生による研究発表会を開催し、学生同士の研究交流や大学院担当教員による研究指導が行われます。また、大学院の研究教育環境の改善を目的としたFD研修会も実施します。それらに加えて、経済に関連した施設や工場などの見学を行い、日本経済の現状に触れる機会も設けています。これまでは小田原市（2019年）、御殿場市（2018年）、銚子市（2017年）などを訪れています。コロナ禍以来実施を中断していましたが、今年度は3年ぶりに再開する予定です。

法学研究科

オンライン授業の導入



法学研究科では、令和4年度よりオンライン授業（同時双方向型／同時双方向・対面併用型）を導入。コロナ禍で急遽注目を浴びることになったオンライン授業ですが、同研究科では社会人や遠隔地の学生の通学負担軽減策として以前から注目し、恒常的な導入を推進してきました。オンライン授業科目は、修士論文作成指導や税理士資格の取得に関連する一部の科目を除き、平日5、6限に毎時間に置かれており、活用の仕方次第で、平日2日程度と土曜日の通学負担のみで修了に必要な単位を修得することが可能となり、教育効果はもちろん、入試・広報上の効果も期待されます。

法学研究科では、令和4年度よりオンライン授業（同時双方向型／同時双方向・対面併用型）を導入。コロナ禍で急遽注目を浴びることになったオンライン授業ですが、同研究科では社会人や遠隔地の学生の通学負担軽減策として以前から注目し、恒常的な導入を推進してきました。オンライン授業科目は、修士論文作成指導や税理士資格の取得に関連する一部の科目を除き、平日5、6限に毎時間に置かれており、活用の仕方次第で、平日2日程度と土曜日の通学負担のみで修了に必要な単位を修得することが可能となり、教育効果はもちろん、入試・広報上の効果も期待されます。

経営学研究科

3年ぶりの対面修士論文中間報告会



報告を行う修士2年生へ鋭い質問を投げかける教授陣

9月10日に、経営学研究科修士論文中間報告会が開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大によって、2020年度・2021年度はオンラインでの実施

でしたが、今年は3年ぶりの対面開催となり、学生たちは緊張の面持ちでした。オンライン利用は慣れている学生たちですが、教授陣と後輩が目前でこちらを見据え、リアルな反応が顕著にわかる対面での発表は、空気感が異なり良い経験になったようです。なお、他大学等では秋も深まったころに実施することが多い中間報告会を、夏に行うのが本研究科の特色です。これは、早くにアドバイスをすることで修士論文を充実させるため、今回の報告会を機に学生たちはより執筆に力を注いでいくことでしょう。

社会福祉学研究科

多様な研究の視点に出会い、自身の研究を深めることができます



社会福祉学部図書資料室は、院生に配慮して夜間まで開室しています

本研究科は、修士課程の社会福祉学専攻と教育福祉学専攻、博士後期課程の社会福祉学専攻から成っています。中間発表会は一

堂に会って行ないます。院生の発表後、専攻を問わずフロアの教員から様々な質問やコメントが寄せられ、院生の学びの機会になっています。修士課程にはオムニバス授業（「現代の社会福祉課題特論」「現代の教育福祉課題特論」）があり、教員が順次担当して、最新の研究課題をコンパクトに院生に講義しています。また、本研究科は、大学院社会福祉学専攻課程協議会（社専協）に所属していますので、院生は社専協に属する他大学院の授業を履修することも可能です。様々な場面に、多様な視点に出会う機会があります。

地球環境科学研究科

「天水だけでどうしてお米ができるか」をテーマに博士研究



谷津田にてドローンでの点群データ作成風景

比企丘陵では谷津田地形が多く、荒川からの取水が困難な位置にあり、ため池の水を大切に利用した農業が1500年以上続けられています。この文化に着目し、日本・世界農

業遺産登録申請が行われ、昨年度には最終審査まで残った実績を持ち現在審査中です。大学院環境システム学専攻博士後期課程1年の佐藤響平さんは、「天水だけでどうしておいしいお米ができるか」という疑問を学部、修士、博士研究と一貫した研究テーマにして研究を続けています。所属の後藤研究室では、ドローン・GISを駆使して空間情報を取得し、環境データサイエンスで評価する研究が中心であるが、評価の過程で化学分析・土壌分析・土壌微生物多様性評価の結果が必要になり、他分野の教員と連携しながら進めている姿勢は正に百姓に通じるものを感じます。

心理学研究科

オンラインで『対人・社会心理学専攻入試説明会』開催



説明を行う心理学部の八木善彦先生

7月13日「対人・社会心理学専攻入試説明会」をオンライン形式で開催しました。説明会には、対人・社会心理学専攻への受験希望者が参加し、

専攻や入試に関する全体説明（入試、奨学金、指導担当者、指導スケジュールなど）を行ったのち、個別の相談を行いました。コロナ禍の中、オンライン形式での開催となった当説明会ですが、参加希望者はスケジュールに大きな影響なく参加ができるという利点もあり、想定を超える参加者数でした。個別相談についても、非常にきめ細やかな対応を行うことができました。次年度以降も、盛況であった今回の説明会の経験を活かし、さらなる充実を図ります。

2023年度大学院入試日程のご案内

| | | |
|-------|-------|---|
| [B日程] | 実施研究科 | 経済学研究科・経営学研究科 |
| | 出願期間 | 2022年11月15日（火）～11月24日（木） ※出願期間最終日までに必着 |
| | 試験日 | 2022年12月3日（土） |
| | 合格発表日 | 2022年12月9日（金） |
| [C日程] | 実施研究科 | 文学研究科・経済学研究科・法学研究科・経営学研究科・社会福祉学研究科・地球環境科学研究科・心理学研究科 |
| | 出願期間 | 2023年1月12日（木）～1月25日（水） ※出願期間最終日までに必着 |
| | 試験日 | 2023年2月11日（土・祝） |
| | 合格発表日 | 2023年2月16日（木） |

詳細は本学の入試情報サイト
（右記QRコード）をご確認ください▶



REPORT

令和4年度リーダー養成特別プログラム リーダーシップキャンプ2022in 東川町

リーダーシップキャンプ2022開催!

2021年度に北海道東川町と連携協定を結び、事前学習や地方創生フォーラム、羽田空港での成果発表など様々な活動を実施して参りました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりキャンプについては実施することができませんでした。

今年度は東川町のご厚意でキャンプ実施に向けて調整した結果、実施に至ることができました。新しい発想や自らの可能性を発見し、リーダーシップマインドを醸成する目的のため、計12名の学生が参加しました。

東川町役場での実地研修や留学生とのワークショップのほか、成果報告準備を兼ね自分たちでルート等を決めて、町内の現地視察を行うなど学生1人1人が主体的に行動しました。最後の研修修了式では自分たちが感じたことや東川町への提言について意見が出され、一段と成長した姿を見ることができました。

今後は学んだことを報告書にまとめ、成果報告会を開催します。

この場をお借りして、東川町役場の皆様に厚く御礼申し上げます。



REPORT

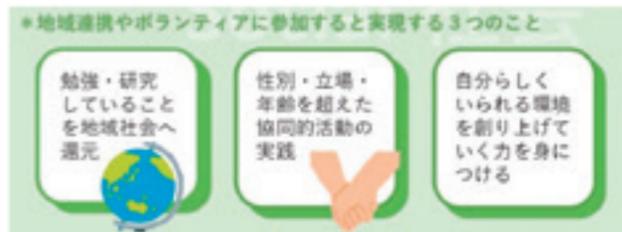
サロンCOMRISS

6月21日と7月26日に品川、6月7日と7月5日に熊谷にて研究推進・地域連携センター、ボランティア活動推進センターの共催によるサロン「COMRISS」を開催しました。地域連携プロジェクトやボランティア情報の提供を目的とした入退場自由で気軽におしゃべりができることを目的としたもので、COMRISSとはCommunity（共同体、地域社会）とRissho（立正大学）を掛け合わせた造語です。

本学は品川地域に根ざした大学として、地域連携プロジェクトやボランティアに参加することで、授業やサークルとはまた違ったコミュニティを形成し、学外との繋がりを深めることを目指しています。第2期（11月以降）は下記日程で開催予定です。

品川：11月22日、12月13日、1月10日、3月28日

熊谷：11月15日、12月6日、1月17日、3月7日



REPORT

熊谷キャンパス周辺地域での地域連携活動の紹介

熊谷キャンパス周辺地域では、立正大学の学生がフィールドワークやボランティア、ゼミ・サークル活動など、“まちなか”を活動の場として様々な取組を行っています。研究推進・地域連携センターにおいても、地域との連携を深め、学生が実体験を通じて社会の中にある課題の発見や解決に導く力を育める場の創出を目指しています。今回の記事では2022年度上半期に実施した取り組みの一部を紹介します。今後もまちなかでの学生の活躍にご注目ください。

- 親子でパイロット体験☆ドローン博士と2種操縦!
- 藍のレジェンドと農福連携で行う藍染体験♪
- 学生が魅力を紹介!熊谷駅から立正大学ウォーク

2022年2月10日に「地域連携に関する包括連携協定」を締結した株式会社ガイアックスが運営するマッチングプラットフォーム「aini」を活用し、学生が主体となってユニークなイベントを企画・開催しました。自分が持つ特技や知見を社会に発信し、共有できる機会をコーディネートすることは難しいながらも達成感や多くの気づきがあったようです。



藍染体験の実施風景



「立正大学ウォーク」での学生による説明

発信力UP!セミナー

イベントの発信・集客や仲間集め、論文の見出し作成などに役立つ技術を学ぶセミナーを開催しました。埼玉新聞社編集管理幹吉田俊一氏を講師にお招きし、「1行で心を動かす!キャッチコピー・見出しづくりのコツ」と題した、すぐに活かせる実践的な内容を学ぶことができました。また、品川キャンパスからは多くの学生がオンライン参加しました。



セミナー開催の様子

海外協定校の学生対象 オンライン日本文化プログラムを開催!

国際交流センターでは、日本語を学んでいる海外協定校の学生を対象とした「オンライン日本文化プログラム」を7月7日～13日に開催しました。このプログラムは、例年対面で実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に続き今年度もオンラインでの実施となりました。韓国・台湾・ベトナムの協定校から応募があり、14名の留学生がプログラムに参加しました。

プログラムでは、ビジネス日本語や日本文化を学ぶ授業を行うとともに、留学生と本学の学生との交流会の時間を設け、6日間を通して日本語や日本文化への理解と学生同士の交流を深めました。

授業では「フォーマルな自己紹介」「日本のビジネスマナー」「日本のことわざ」「オノマトペ」「ケーススタディ」「川柳」などをテーマとして、留学生にとって普段聞き慣れない敬語や日本ならではの表現、文化を学びました。最終日には、今まで学んできた日本語や日本文化の知識を生かして、それぞれの思いを綴った川柳を発表し、留学生が作った個性豊かな川柳にとっても盛り上がりました。

また、本学の学生との交流会では「お辞儀の種類」や「食べ物の『食べ

方』について」をテーマにグループワークを行い、参加学生同士の異文化理解を深めました。本学の学生を対象に行ったアンケートでは、「日本語を通して、他国の文化を聞いて理解することができた」「文化の違いを学ぶことができた」などの感想とともに、全員が「参加して良かった」と回答しており、本学の学生にとっても他国について知る良い機会となりました。

留学生からもプログラム全体を通して、「日本文化だけでなく、他の参加国の文化も学べたので参加して良かったです」「6日間があっという間に感じるほど楽しいプログラムでした」など好評の声が多く、短期間での実施ではありましたが、満足度の高いプログラムとなりました。

コロナ禍で日本人学生が海外に行くことも留学生が日本に来ることも、以前のように簡単ではなくなりました。そうした状況の中でも、日本語を勉強したいという強い意志を持ってオンラインプログラムに参加してくれた留学生の姿に、本学の学生・教職員ともに大きな刺激を受けました。

国際交流センターでは、今後も継続して国際交流イベントを実施していく予定です。異文化交流に興味がある方はぜひ積極的にご参加ください。



授業風景



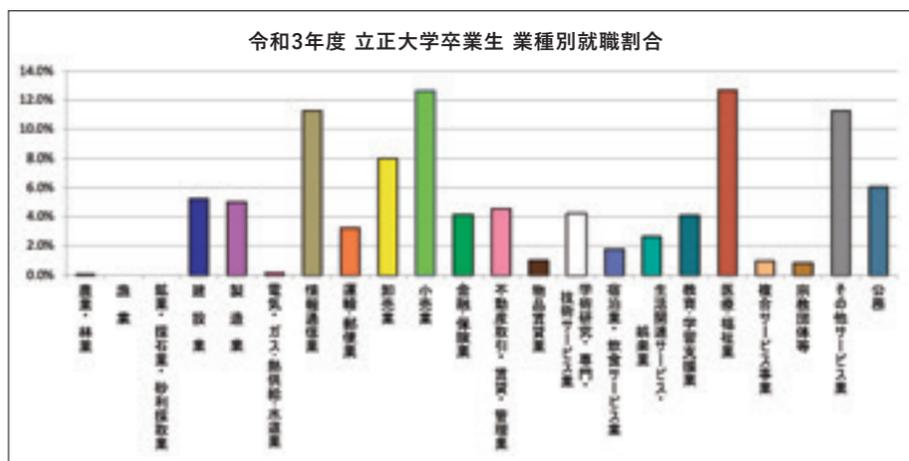
留学生の川柳作品

キャリアサポートセンター

令和3年度卒業生の就職状況はコロナ禍でも堅調。 回復傾向も、質が求められる採用選考。

令和3年度本学卒業生の就職状況

令和3年度本学卒業生（2022年3月卒）の就職率（※1）は93.9%で、前年比0.1ポイントの上昇となりました。これはコロナ禍前、売り手市場と言われた令和元年度卒の96.4%には及ばないものの、80～90%台だったリーマンショック後を上回っています。リーマンショック時はほぼ全業種で求人数が大きく減少していましたが、コロナ禍では積極的に採用している業界もあり底堅い結果となりました。業種別の就職者数割合では情報通信（IT）、小売り、医療・福祉業が上位となり、近年の傾向とほぼ同様となりました。



コロナ禍前に戻りつつも質が求められる採用選考

「(コロナ禍で) 厳しい航空業界をあえて志望するのはなぜですか」

全日本空輸は1日、オンラインでの採用面接をスタートし、面接官がパソコンの画面越しに問いかけた。(採用選考解禁 就活生 内定はや3分の2 早期化に拍車 懸念も、読売新聞、2022-06-02、朝刊)

コロナ禍の影響が大きく、新卒採用を中断していた航空、旅行、宿泊などの業界で新卒採用を再開したという話題に代表されるように、2023年春入社の新卒採用においては、過去2年間採用を抑制した業界を含め3割以上の企業が前年より採用者数を増やす見込みという調査結果（※2）があり、従業員数の規模や業種により違いはあるものの全体的な傾向として回復傾向にあり、コロナ禍前の水準にあると言えるようです。

しかし先の航空会社の新聞記事のように、採用を再開した業界においても「あえて志望する理由」を問うなど、学生をより見極め、採用予定者数の充足という「数」よりも「質」を重視していこうとする傾向があります。

質形成のため、インターンシップの活用を

一昨年度は中止、昨年度は全面オンライン形式での開催としました大学推薦型インターンシップについて、今年度は授業で一部オンラインを取り入れるものの、実習は企業の協力の下、原則対面形式での実施と致しました。

インターンシップは業界理解や自身の職業適性を見極めにも繋がりますが、現場の社会人と接することで主体性や柔軟性、傾聴力など、「質」の形成に大いに役立つことでしょう。大学推薦型に限らず、機会があれば一般的に行われているインターンシップにも積極的に参加して頂きたいと思います。



大学推薦型インターンシップの授業風景(熊谷キャンパス)

キャリアサポートセンターでは、このような採用市場の動向について伝えていくと共に、学生が納得できる就活に向けて支援を続けていきますので、お気軽に相談して頂きたいと思います。

※1 就職希望者を母集団とした就職率。文部科学省「大学等卒業予定者の就職状況調査」と同様の計算式によるもの。 ※2 キャリタスリサーチ「2023年卒採用活動の感触等に関する緊急企業調査(2022年5月)」より

法界次第初門 3巻3冊／[(隋)智顓 説]、[元和寛永頃刊] A11/315

中国隋の僧で、天台宗の開祖ともされる智顓(538~597)の著作。『大品般若経』『大智度論』などの諸経論から60科目の仏教用語を選んで解説している。当初は7巻300科目の予定だったが、3巻までしか書かれなかった。

本書は、一部に陰刻活字(文字部分を掘り下げた活字)を用いた古活字版で、その版式は無辺無界9行20字(注文小字双行)、白口双花口魚尾である。『法界次第初門』の古活字版としては、元和4年(1618)の刊記を有する9行19字の本や、西本願寺版(刊年の記載なし)の10行19字の本が知られるが、それらとは版式が異なる。『粟田文庫善本書目』(粟田元次『書誌学の発達』青裳堂書店、1979年)や『弘文荘待買古書目』42号(1972年)には9行20字の古活字版の情報が載るが、現物やその画像が確認できないため、本書と同種のものかは不明である。ちなみに、『弘文荘待買古書目』に載る本は寛永2年(1625)の識語を持つ「観山版」とされる。

古活字版でなく整本版であれば、本書と同じ9行20字の本を見つけることは難しくない。その早い例に、中野市右衛門より刊行された寛永9年(1632)版がある。本学所蔵の寛永9年版(A11/314)と本書を見比べると、文字の形もかなり近いことが分かる(右図参照)。このことから寛永9年版は、本書と同種の古活字版をもとに作られた可能性が高い。

本書は、大正5年(1916)に貞松山蓮永寺より寄贈され、昭和58年(1983)に「立正大学図書館蔵貴重書解題II」(『立正大学図書館年報』6)の中で紹介された。同解題では「3巻1冊(合綴)」となっているが、現状は3巻3冊である。本書は、巻第1の1丁目を欠くほか、焼損箇所を墨書きで補った箇所などが複数ある。状態が悪かったためか、現在は総裏打ち補修が施されている。おそらく、裏打ちによって本の厚みが増したため、昭和58年(1983)以

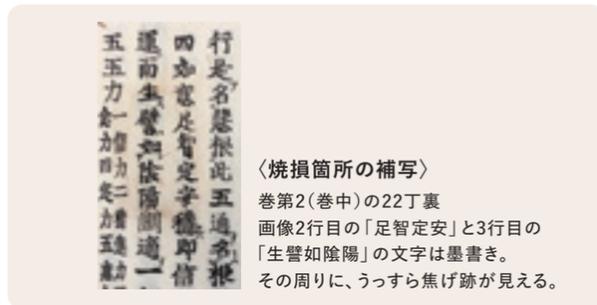
降に3冊に分冊したと推測される。

本書の巻第3の後遊紙には、「貞忝山/廿八世 日遇〔花押〕」の識語が確認できる。日遇(後の日富)は貞松山蓮永寺の28・29世を務めた人物として知られる。このほか、巻第2の32丁裏に「為一門法界買得之 悦心」、巻第3の42丁裏に「與自他俱同歸寂求之悦心」の識語がある。悦心については不明だが、おそらく、蓮永寺に渡る前に本書を所持していた人物であろう。



〈古活字版と寛永9年版の比較〉

巻第1(巻上)の巻末(33丁裏)、右:古活字版 左:寛永9年版
*古活字版の訓点は墨書き。7行目の9~11字目が陰刻活字。



〈焼損箇所の補写〉

巻第2(巻中)の22丁裏
画像2行目の「足智定安」と3行目の「生譬如陰陽」の文字は墨書き。その周りに、うっすら焦げ跡が見える。



100年にわたって立正大生を支えた中村屋さん

現在の品川キャンパスのトークパレットでは紀伊國屋書店さんが営業していますが、以前は同じ場所に「中村屋」さんが営業していたことを覚えている方もいるでしょう。中村屋さんは2019(平成31)年1月末をもってお店を畳まれましたが、中村屋さん立正大学とのつながりはとても古いものです。

中村屋さんが本学で商いをするようになったのは、1919(大正8)年に、日蓮宗宗務院へ学用品や文房具を納めたのが始まりで、日蓮宗大学旧1号館、ついで旧3号館にお店を構えました。石橋湛山学長の頃、沖中恒幸教授(初代経済学部長)から「経済学の教科書を置いて欲しい」と頼まれ、仏教以外の本も販売するようになります。その後、1965

(昭和40)年に4号館の裏手、1985(昭和60)年には5号館の隣、そして1990(平成2)年には4号館の建物内へと移り、1992(平成4)年にはトークパレットの中に入りました。

1919(大正8)年から1971(昭和46)年までは「永島屋」という名前でした。中村屋になったのはそれ以降で、合わせて100年。店主は初代が中村佐太郎さん、2代目が中村百合子さん、3代目が中村和正さんと一家3代にわたって続けられました。中村屋さんは、本学の発展とともにあったといっても過言ではないでしょう。

中村屋さんで本や用品を購入した学生たちは社会人として羽ばたいていきましたが、これからも中村屋さんの思い出は卒業生の間で受け継がれていくに違いありません。



1952年ごろ:新1号館の時(男性は初代の中村佐太郎さん、女性2代目の中村百合子さん)



1985年:4号館裏手の時(男性は3代目の中村和正さん)

RISSHO JUNIOR&SENIOR HIGH SCHOOL

立正大学付属立正中学校・高等学校

中学林間学校、3年ぶりに実施

立正中学校では中学2年生と1年生を対象に、林間学校を実施しました。新型コロナウイルスの影響で過去2年間は中止となっていたが、実に3年ぶりの実施となりました。

中学2年生は7月中旬に新潟県南魚沼市、長岡市方面で実施し、野菜収穫体験や奥只見湖の遊覧船乗船、飯盒炊飯、花火大会を楽しみました。また、富山県の黒部峡谷、三重県の大杉谷と並んで日本三大峡谷の一つとされている清津峡のトンネルを見学し、自然と一体となれる2泊3日を過ごしました。

中学1年生は7月下旬に福島県裏磐梯、会津地方で実施し、野口英世記念館、白虎隊の舞台となった飯盛山、鶴ヶ城、そして会津藩校日新館を見学しました。檜原湖での遊覧船乗船、五色沼ハイキング、赤べこ作り体験など、裏磐梯の自然に触れた3日間でした。

新潟県と福島県はどちらも過去に大きな震災に遭った地域ということもあり、新潟では「おぢや震災ミュージアム」を見学し、福島では2011年の東日本大震災に遭遇した方からの「震災講話」が行われました。



日本三大峡谷の一つとされている清津峡トンネル



檜原湖の遊覧船前で記念撮影

中学3年生 職場体験実施される

7月中旬、中学3年生の130名を対象に、3日間の職場体験が実施されました。職場体験は、実際に職場の任務にあたり、将来の自分の職業観を養う目的で行われています。

今回実施された職場体験では、警察署、消防署、自衛隊、保育園、美容院、コンビニ、福祉施設、スーパー、パン屋など延べ50余りの職場の方の協力もあり、この体験が3年ぶりに実現しました。また、本校の卒業生が勤務する職場もたくさん紹介していただき、本校の生徒たちを温かく受け入れてくださいました。

初めての職場体験の前に、緊張している生徒もいましたが、実際に仕事を体験し、企業の方に直接ご指導をいただいたことで、働くことの大変さを実感し、生徒本人の職業観につなげることができました。また、接客業務などを通して、お客様に対する礼儀・マナーやコミュニケーションの大切さも学ぶことができました。

この経験を通して学んだことや感想をまとめ、10月の立正祭で掲示発表しました。



自動車販売店で職場体験

RISSHO UNIVERSITY SHONAN HIGH SCHOOL

立正大学 浜南高等学校

体育祭『SHONAN SPORT FESTIVAL 2022』を開催

今年も5つの団に分かれて優勝を目指しました。今年の体育祭Tシャツは、浜南高校の5つの柱であるサッカー部、野球部、マーチングバンド部、ライフル射撃部、eスポーツ部のエンブレムをモチーフにデザインを考え作成しました。

新型コロナウイルス感染対策も施しながら熱中症対策も考慮しないといけないほどの暑さの中での開催となりましたが、大きな怪我や病もなく無事に体育祭を終えることができました。オープニングでは、「アスリートデザイン」の授業を通して練習を行ってきたサッカー部と野球部の生徒たちが、マスメーム(集団演技)を3年ぶりに復活させ披露してくれました。日頃から鍛えられた競技力を発揮するとてもレベルの高い浜南高校らしい体育祭となりました。



新任教員紹介 村尾 蓮

英語科教員、野球部寮の翔球寮舎監、硬式野球部コーチとして着任しました。私は高校時代の3年間、野球部に所属し寮生活を通じて、野球選手としても、人としても自分自身が成長することができました。

次は、教員という立場からこれまで経験してきたことを生徒に伝えていく立場になります。社会人1年目でまだまだ分からないことがたくさんありますが、だからこそ自分にできることを探し、生徒に本気で向き合うことができる指導者を目指したいと思います。

教員としてまだまだ未熟者ではありますが、諸先輩方の姿や取り組みから多くのことを吸収し、生徒とともに成長していきたいです。精一杯頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



村尾 蓮先生

立正大学 強化クラブ情報

サッカー部

サッカー部の歴史に新たな1ページ。東京都代表として創部初の天皇杯に出場



2022年4月に、第27回東京都サッカートーナメント（本選）が行われました。このトーナメントは、プロとアマチュアが混合で勝敗を競う全日本大会で、東京都の代表決定戦も兼ねています。

学生予選では、明治大学と拓殖大学を破り、本戦初戦にあたる準決勝では、社会人代表の東京ユナイテッドFCに対し、終了間際の勝ち越しゴールで2対1と劇的な勝利。決勝は大学生同士の戦いとなり、国士舘大学に粘り強く戦い1対0で勝利。創部初の優勝と、天皇杯JFA全日本サッカー選手権大会への出場権を得ることができ、部の歴史に新たな1ページを刻むことができました。その後、東京都代表として臨んだ天皇杯1回戦では、神奈川県代表の桐蔭横浜大学と対戦しましたが、0対1で惜しくも敗れ、幕を閉じました。

しかし、個人に目を向けると、主将の平松航さん（地球環境科学部4年）が栃木SC（J2）、副将の深港壮一郎さん（地球環境科学部4年）がFC町田ゼルビア（J2）、榊原杏太さん（地球環境科学部3年）が名古屋グランパス（J1）に内定し、3名のプロ選手が誕生しました。3名とも特別強化指定選手に登録され、今後の活躍が期待されます。

第96回関東大学サッカーリーグ戦2部では、前期終了時点で4勝2分4敗で8位（1試合未消化）と出遅れていますが、後期リーグでの巻き返しを図ります。

ラグビー部男子

大学選手権出場を目指して 8年ぶりに1部で迎える 関東大学リーグ



大東文化大学との招待試合

今シーズンは、8シーズン振りの関東大学リーグ戦1部復帰となる大切なシーズンとなりますが、昨年12月の入替戦に勝利し、1月より1部で戦える身体作りと戦術・戦略の検討を行いながら、春季大会を4勝1敗Cグループ2位という成績で終了しました。

6月後半からは日本一暑いと言われる熊谷で、夏合宿、秋のリーグ戦に向けて、再度フィジカル向上を目指した厳しいトレーニングに取り組んでいます。開校150周年記念事業として、6月12日より第15回立正大学ラグビーフェスティバルを盛大に開催し、本学熊谷キャンパスラグビー場へ立正大学ラグビー部後援会名誉会長、小林哲也熊谷市長、後藤素彦ラグビー部後援会長など多くの方にご来場いただき、熊谷ラグビースクール、アルカスアカデミーの小学生約100名へのラグビークリニック、熊谷不惑と群馬不惑の試合、メインゲームとして、立正大学vs大東文化大学との招待試合を行い、57対42で本学ラグビー部が大学選手権常連校の大東文化大学に勝利し、記念事業第一日を最高の結果で締め括る事が出来ました。この好調を更に向上させて、一連の記念事業の円成はもちろん、チームの大目標である大学選手権出場を目指して、日々のトレーニングに取り組めます。

ラグビー部女子

学生、卒業生が活躍。4人がワールドカップメンバー選出



7月に本学のラグビーグラウンドを会場とし、全国から12チームが集まり、国内の大学女子7人制ラグビーの王者を決める「Women's College Sevens 2022第9回 大学女子7人制ラグビーフットボール交流大会」が開催されました。全部員が1年間この大会にむけてトレーニングを積み重ねてきました。結果は4位で悔しい思いはありますが、このような状況の中で大会に参加させていただいた事に感謝の思いを持ち、来年に向けて努力していきます。

また、9月に7人制ワールドカップも南アフリカで開催され、本学より1名の学生、3名の卒業生が出場いたしました。10月には女子15人制ワールドカップがニュージーランドにて開催され、本学関係者より3名の学生、5名の卒業生が世界の舞台で日本を代表して戦いました。ラグビー部女子の目標は立正大学から世界へ挑戦する学生を一人でも多く輩出することです。来年度以降に開催される国際大会に向けて、日本を代表する選手となれるように努力してまいります。

硬式野球部

秋季リーグが終了。1部昇格を目指し新チーム始動



今年度の主将としてチームをけん引した奈良間大己(法学部4年)

野球部は春季リーグにて4位という残念な結果で終わってしまい、目標である1部昇格を達成することができませんでした。春季リーグ戦の悔しさの分も晴らすために部員の秋季リーグ戦にける思いは果てしなく強まり、チームの一体感もこれまでになく高まり、目標に向けて頑張っています。

秋季リーグ戦に向けて春のリーグ戦の反省点、夏季のOP戦を経てチームの課題、個人の課題について真摯に向き合い、チームのレベルアップと共に個人のスキルアップも行ってきました。自主練習の時には自分たちで考えて足りない部分を周りが暗くなくてもひたすら反復練習する程で、夏の暑い時期にしっかりとトレーニングを積むことで技術だけではなく、体力の面でも大幅な強化を行ってきました。

また、4年生を中心に野球だけをやればよいのではなく、日常生活もきっちりやるということ意識してやってきたことで野球部員としての自覚を再確認し、日常生活の面でも野球人としての行動を徹底していることで、感染症対策を徹底し、しっかりと自己防衛ができています。

秋季リーグ戦が終わり、4年生は引退となり、来春に向けて新チームが始動します。4年生が残してくれた良い部分は吸収し、直さなければいけない部分は修正し、新たな風を吹かせます。

CIRCLE 2022

＼ 学生生活を充実させよう！ ／

本学には100以上の様々な課外活動団体が活動しています。今回は、「RIEA」と「準硬式野球部」を紹介します。

CIRCLE INFO 立正大学学生国際交流会～RIEA～

難しいとつまづく前に！RIEAで楽しく英語力UP！

立正大学学生国際交流会～RIEA～（以下：RIEA）は、外国人留学生との交流やサポートを行うことを目的としたサークルです。今回は、RIEAで代表を務める堀田零士さん（文学部3年）にお話を伺いました。

RIEAの主な活動は、英語での自己紹介や文法並び替えゲームなどのトレーニング、Zoomを通してフィリピンをはじめとする海外との交流会が挙げられます。以前のRIEAではトレーニングは無かったそうですが、堀田さんが代表になり新たに始めた取り組みだそうです。

トレーニングについて「外国人と話すには、最初に英語力をつける必要があると感じました。トレーニングを通して、英語を聞くこと・話すこと・書くことを楽しみながら学び、実践できるよう、私が代表になったタイミングで新たに導入しました」と話し、RIEAで実際に活用できそうなトレーニングを日々研究しているそうです。また、Zoomでの海外交流会では日頃のトレーニング成果を発揮する良い機会であると言います。実際に英語で日本文化を紹介したり、俳句を詠んだりと交流を深めながら日本についても学ぶことができるそうです。

11月に行われる橘花祭では、サークルの催し物として「模擬国連」を行う予定です。各国の首相や代表になりきり、お題に対してディベート（※提示した主題に対して肯定側・否定側に分かれて討議するもの）を行うもので、事前申込がないため橘花祭当日にブースへ立ち寄っても、サークルに入っていない方でも気軽に参加できるそうです。

最後に、RIEAに興味がある方へ向けて「RIEAでは、楽しみながら英語の力を伸ばすことができます。英語につまづく前にRIEAで遊んでください！英語が苦手でも入部でなくてもふらっと来ていただくのも大歓迎です。一緒に頑張りましょう！」と堀田さんが締めくくってくれました。「国際交流に興味がある」「英語力を身につけたい」という皆さん。一度RIEAに遊びに行ってみてはいかがでしょうか。



海外とのZoom交流の様子



CIRCLE INFO 準硬式野球部

入れ替え戦の悔しさを力に変えて 全員野球で3部リーグ昇格へ！

準硬式野球部は、品川キャンパスと熊谷キャンパス合わせて約50名の部員が所属しています。東都大学準硬式野球部連盟4部リーグに所属している準硬式野球部は、「3部リーグ昇格」を目標に掲げ、2022年度4部春季リーグ戦では、見事リーグ優勝という成績を収めています。今回は、準硬式野球部をまとめる主将の亀山矩人さん（経済学部3年）にお話を伺いました。

準硬式野球部はグラウンドを持っていません。そのため、自分たちで近隣グラウンドの予約を取りながら、月曜日は4時間、木曜日は2時間と決められた時間の中で、バッティングや守備練習、週末のリーグ戦での反省点や課題をもとにメニューを考えながら練習に励んでいるそうです。現在は、活動が再開されていますが、以前は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、活動自体も制限されていました。

コロナ禍での活動について何うと「部の伝統が受け継がれないまま代替わりをしてしまったり、試合をしても試合勘が戻らないこともありました。中でも、個々への連絡や、オンラインミーティングを通して部について考える時間を設けるなど、メンバー間でコミュニケーションを取り、士気が落ちないような工夫をしていました。準硬式野球部は実力のある仲間が揃っているので、主将としてしっかりリーグ戦優勝、3部昇格へ導きます」と話してくれました。

春季リーグ戦について何うと「楽な試合は一つもなく、粘って優勝できたことは嬉しいですが、入れ替え戦で獨協大学にコールドで敗れ、3部に昇格できなかったことが悔しいです。入れ替え戦では大きな差を感じたため、練習内容を見直し、秋季リーグ戦に向けて頑張っていきたいです」と、9月上旬から始まっている秋季リーグ戦へ向けて意気込みを語ってくれました。

最後に読者へ向けて「今春季リーグ戦での3部昇格は叶いませんでしたが、より一層練習に励んでまいりますので、今後の準硬式野球部の変化にご期待ください。そして、応援よろしく願いいたします！」と亀山さんが締めくくってくれました。準硬式野球部の更なる活躍に期待です。



InstagramやTwitterで活動内容を随時更新しているのでフォローをお願いします

3年ぶりに橘花祭・星霜祭が同時開催！

品川キャンパス 橘花祭

第57回橘花祭のテーマは「彩虹（さいこう）」です。昨年より多くの来場者を迎えられるよう、実行委員それぞれが持つ色を生かし、虹のように色鮮やかな最高の橘花祭にしたいという想いがこの2文字には込められています。

昨年度の橘花祭は、対面企画とオンライン企画の2つを融合した“ハイブリッド型”での1日開催でしたが、今年度は通常開催予定で、ミスターコンテスト、緑日、野菜販売など、多くの企画を実施する予定です。その中でも、橘花祭のメインを飾るといっても過言ではない「ミスターコンテスト」では、魅力ある立正大生たちがステージ上に集結します。

さらに、橘花祭の名物であるパレードが3年ぶりに帰ってきます。応援指導部や吹奏楽部の他にも、可愛い着ぐるみたちが出演する予定です。

当日は、多くの方楽しんでいただけるよう、橘花祭期間中は休憩室やキッズルームもご用意しています。お困りの際は、橘花祭実行委員会本部又は、グリーンジャンパー着用の実行委員にお声掛けください。

橘花祭実行委員のコメント

パレード、緑日、ミスコン、ステージ企画、屋台と実行委員・ゼミやサークルの参加団体一同、更なる高みを目指して奮闘しておりますので、是非ご来校ください。(委員長 宮澤朱璃)
 緑日は毎年好評ですが、今年はより一層力を入れて準備に励んでおりますので、お誘い合わせの上ご来校をお待ちしております。(副委員長 原田脩希)
 昨今、憂鬱になりがちですが、ご来校される方々に少しでも明るく色鮮やかな気持ちになれるような橘花祭をつくりたいと考えております。(副委員長 竹岡宙良)



前回実施された橘花祭パレードの様子。3年ぶりに復活です



橘花祭実行委員も万全の感染症対策を講じて来場者を迎えます

熊谷キャンパス 星霜祭

第35回星霜祭のテーマは、「5ing（ゴーイング）」です。この「5ing」には、立正大学学園が開校150周年、熊谷キャンパスが開設55周年、星霜祭が35回の節目の年を迎えるということ、3年ぶりに再び星霜祭を開催できるということから、5と英語の現在進行形〈going〉をかけ、みんなでも力を合わせながら進んでいこうという思いが込められています。

今回の星霜祭は、立正大学の歴史を辿ることができる体験型イベント、緑豊かな熊谷キャンパスのアカデミックキューブを華やかに装飾して“映えスポット”を提供するなど、これまでにない企画も考案中です。また、学生参加団体も教室内で展示型・体験型・パフォーマンス型など様々な企画を行う予定です。

星霜祭実行委員のコメント

私たち星霜祭実行委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響で思うように活動できない時期を過ごしてきましたが、今年度はやっと星霜祭開催に向けて活動を開始することができました。2019年に開催した第32回星霜祭のテーマが「歩み」ということで、これまで先輩方が築き上げた歴史を受け継ぎながらも今の時代に合った形を取り入れつつ開催していきたいと考えています。3年ぶりの開催となる「第35回星霜祭」は、実行委員のみならず参加団体、教職員の皆様とも協力し合って、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、皆さんの思い出の1ページとなるような素晴らしい大学祭になることを目指しています。これまでのように学外の方もお越しいただき、地域に密着した星霜祭を開催できないことに悔しい思いも感じますが、今年のこの思いが来年以降に必ず結びつくように、まずは今年の星霜祭を万全の状態で開催したいと思っております。たくさんの学生のご来場をお待ちしています。



3年ぶりの開催に向けて、星霜祭実行委員も張りきっています

Information

【品川キャンパス 橘花祭】 開催日：11月5日(土)10時～17時
 【熊谷キャンパス 星霜祭】 開催日：11月5日(土)10時～17時

※開催内容は変更となる場合があります。詳細は、橘花祭、星霜祭の各種SNS等をご確認ください。
 ※星霜祭は本学学生・教職員向けの開催となりますので、学外の方はご参加いただけません。

安否確認システム登録のお願い

本学では、自然災害や地震発生時に、在籍する学生の安全確保を目的とし、緊急連絡ならびに安否確認の手段としてセコムトラストシステムズが運営する「セコム安否確認サービス(e-革新)」を導入しています。

お問い合わせ 品川学生生活課 03-3492-6698 / 熊谷学生生活課 048-536-6012

パソコンでの登録やその他詳細については、『ポータルサイト> My ツール > キャビネット>3. 学生生活支援>6. 安否確認システム内の各種資料』を参照してください。

企業コード:01013(半角) パスワード:生年月日の下4ケタ(月日)
 ユーザーID:学籍番号(英字は大文字) (例)4月1日→0401



▲ QRコードはこちら

▶ 本紙へのご感想をお待ちしております！



「立正大学学園新聞」では皆さまからのご意見・ご感想を募集しております。

立正大学 検索
www.ris.ac.jp



公式サイト



公式facebook



公式Twitter



モリスTwitter